

山岳用機が多いでしょう。

●星見山へ

星見山への進軍では、特にイベントは発生しません。時々、警戒中の奏甲に出くわす可能性があります。山麓までの移動には、丸一日かかります。

星見山に向かうルートには、大きく分けて三つのルートがあります。旅なれた英雄や歌姫なら、星見山へのアプローチ方法としてすぐにこの三つのルートを想定できます。

◎ルート1：一本峠

一本峠に向かった場合には、奏甲の待ち伏せ隊に遭遇します。彼らは慌て者や新兵で構成されており、気をつけないといきなり射撃されるかもしれません（小弓またはクロスボウでの射撃1回のみ）。その後であやまってはくれますが…。「交渉」スキルを使用すれば、メーメル村と同じ情報がわかります。彼らは最近配置されたばかりで、竜は見たことがないそうです。

◎ルート2：ふもと近く森

ふもとの森の中を突っ込んだ場合、時間が余計にかかります。ふもとにつくのは夜中近くになります。

◎ルート3：緋色川

ふもと近くまで、緋色川を北上するコースを取った場合、山の丁度西の川岸あたりで、蟲を北部から追い込んでいる奏甲の部隊に遭遇します（隊長：メルムーク・イブン）。

奏甲隊は蟲がこのあたりにいるということを教えてくれます（貴族率いる蟲の本隊は南の方にいるはずとの話）。また、山の方に偵察に出した奏甲が大型の飛行生物に襲われて、ほうほうの態で逃げ帰ったと教えてくれます。相手には歌術が効かなかったそうです。

その他の情報は、村での交渉と同じように扱います。

◎その他の行動

そのほかの余計な行動（わざわざ蟲の本隊を捜索する、奏甲隊の忠告に従わずに「貴族」種退治に出かける、など）をとった場合、貴族1体と衛兵2体を含む敵に遭遇します。その強力を演出しつつ、適当にいためつけてから解放してあげてください。このシナリオに参加するレベルのパーティだと、「貴族」に勝つのは難しいでしょう。マスターは、一行がなぜ冒険をしているのかを思い出させ、本筋に戻るよう誘導をするべきでしょう。

●星見山

星見山のふもとで一夜を明かした場合、張り番は夜中に歌を聞くこととなります。「偵察チェック（基本成功値50）」に成功すれば、歌は山から聞こえてきたことがわかります。

この歌声は、実際には竜の歌声です。

「歌術チェック（基本成功値50）」に成功すれば、歌は歌術のようですが、未知のものだということがわかります。

このあとで、見張り番のペアを中心に、歌と竜、山について「相性チェック」をしてください。

山に登るのは奏甲を使えば2時間程度でOKです。

星見山は険しい山です。夜間に山に登ろうとするのは、滑落の危険が実に大きいことを、マスターはプレイヤーに（歌姫の口などを借りて）知らせてください。

●竜の洞窟

山の中腹と頂上の間くらいのところ（7-8合目）に、目立つ大きな洞窟の入り口が見えます。

入り口には、家畜類の骨や人骨、巨大な糞などが散らばっており、中には真新しい蟲の死骸も4体ほど転がっています。死体は、衛兵と小型の蟲（尖兵）のもので、よく調べると（「偵察チェック」）、3本の爪の跡や、大きなものに踏み潰されたような形跡があります。

●洞窟内部

洞窟への入り口は奏甲が2体並んで入れるほど大きく、ゆるやかに下りになっています。

80メートルほど進んだところで、通路は広がっていて、竜の巣になっています。竜の巣は、60メートル四方くらいの広い天然の洞窟で、天井も十分な高さ（20メートル）があります。天井の一角には穴（出口）があいています。昼間なら、そこからは光が差し込んでいて、洞窟内部を照明しています。洞窟には水晶や見慣れぬ鉱物が露出していて、内部をキラキラと美しく彩っています。

洞窟の中は骨や食い散らかした死骸、破壊された奏甲、糞などが散乱していますが、隅にはさまざまなアイテムが積み重ねられています。集めて飾ってあるというのではなく、邪魔だからそこに片付けた、という感じです。アイテムの中には、壊れた荷車などもありますが、おむね糞などで汚れています。

●財宝について

シナリオの終わりにある、「竜の財宝表」を見てください。

●竜との交渉

財宝を漁ったり、巣の中を調べていると、天井の穴の光がかげり、竜がにゅっと首を覗かせます。竜（ちなみに♀）は「貴様ら、わらわの巣で何をしているのじゃ」と話かけてきます。

♀竜は、話をしているといわゆる「邪悪な奴」ではないことがわかりますが（隊商を襲ったり、ふもとの村を襲ったりは、テリトリーを守るため、あるいは肉食動物の一般的な行動の範疇です）、特別に親切なわけでもありません。

プレイヤーたちが良心の呵責を覚えないのならば、会話を行わず、いきなり攻撃しても構わないでしょう。ただしその場合、竜は持てる力と知恵のすべてを発揮して攻撃してきます（自分の巣の中での戦闘なので撤退はしません）。

竜のデータを参照して戦闘を解決してください。無用心なPCが喧嘩を売った挙句に敗北するというのは、十分に起こり得る結末です。

会話をすすめ、星見山まで来た理由（自分たちが金に困っている）について話をすると、竜の方から、こしばかり悩まされている問題を解決してくれたら、英雄につき各自1つづつ、巣からアイテムを持って帰ってよいと交渉を行ってきます（竜が持ちかける話なので、「交渉チェック」は不要）。英雄たちは、欲張らなければ、頼みを聞くことでしょう。

●依頼の内容

最近、巣のまわりを奇声蟲がうろちょろしている。大方は片付けたのだが、穴の奥に逃げ込んだ奴らがいて、寝ていると出てきて這いずり回るので、小うるさくてかなわない。場所を教えるから退治して欲しい。穴の奥には、自分の大きな体では入れない。

依頼を受けると、天井近くの縦穴を上がっていくとそれが曲がりくねってから横穴になり、その奥からは、確かに蟲っぽい音や鳴き声がすると教えてもらいます。しかし、そこまで上がる手段は自分たちで考えなくてはなりません。奏甲を降りてロープを使うなり、壁をよじ登る（キャラクターの行動、基本値30の「敏捷チェック」）などです。困っている場合は、竜がキャラだけなら運びあげてくれます。

竜は英雄たちが縦穴に入ると、片目をあけたまま寝てしまいます（アークイアの竜とはそんな眠り方をします）。

●竜とのムダ話

♀竜は、すでに数百年生きているそうです。絶対奏甲を見るのは久方ぶり（百年以上前の歌姫戦争で見て以来）で、最近またよく見かけようになったねえと話します。蟲も最近また増えてきたと言います。わらわは歌術を扱え、灼熱のプレスを吐けるのだと自慢します。

昔は竜の♂もこのあたりにいたそうなのですが、200年ほど前に何